

研修用

様式(細則 5-2)

平成 28年 7月 19日

浜田市議会議長
西田浩久 様

議員名 牛尾昭 

調査研究活動報告書

下記のとおり調査研究のため研修等を行ったので、その結果を報告します。

記

1. 期 間 平成28年 7月 11日 (月) : ~ :
~ 7月 12日 (火)

2. 研修内容
① 日本文化の再発見
② 消滅可能性都市

3. 研修先
全国独立会議所
観光振興大会 2016 in 宇都

4. 調査経費 約45000円

(経費内訳)

5. 調査研究活動の概要

別紙参照



政務活動報告書 ; 超党はまだ ; 牛 尾 昭

全国商工会議所

観光振興大会2016 IN 京都研修報告。

開催日 ; 2016年7月11日~7月12日。

会場 ; ロームシアター京都。みやこめっせ平安神宮会館

全大会 ; 基調講演 [日本文化の再発見~各地からオリンピックに向けた文化プログラム提案]

講師 ; 三菱UFJ 上席研究員 ; 太下義之氏。

要旨 ; 2020年の東京オリンピック開催は、首都圏のホテルがキャパを越える状況であり、地方空港や、新幹線ネットワークを利用した地方都市ステイのための、文化プログラム提案が必要である。

挨拶 ; 三村日商会頭、立石京都会頭、門川京都市長。

特別講演 ; 彬子女王殿下 [文化の生きる街。文化を生かす街。]

要旨 ; オックスフォード大学で博士号を取得して帰国し、子供たちに日本文化を伝えるために、心遊舎を設立、総裁に就任され、京都を中心に全国でワークショップを展開されている意義について語られる。

全体交流会 ; 同上。

来賓 ; 国交省近畿局長、京都市長。京都府副知事。

挨拶 ; 京都商工会議所会頭。

交流 ; 川越市、長野市、気仙沼市、松坂市、萩市、下関市など。

分科会 ; 講演 [消滅可能性都市] 脱却に向けた知恵~これからの地域振興のあり方~

講師 ; 日本総研首席研究員 ; 藻谷浩介氏。

要旨 ; 地域活性化のために、これまでは、一度出ていった子供たちを呼び戻せ無かったが、今後は、工夫をして呼び戻す。子育て世代の支援で、出生率をあげる。子育てしながら働ける世代を呼び戻す。無病息災で天寿を全うする高齢者を増やす。地域活性化とは、人口が減らなくなること。若者が戻ってきて子供が生まれ続ける。少し高くても、域内で物を買って域内マネーの流通を計り、雇用を増やすことなどであった。

リレートーク

講師 ; 東海旅客鉄道相談役 ; 須田寛氏。

講師 ; NPOグリーンバレー理事長 ; 大南信也氏。

講師 ; 京都移住計画代表 ; 田村篤史氏。

要旨 ; 資料添付。

総括 ; 今回の大会は、ロンドン五輪の事例などを踏まえ、2020東京五輪、パラリンピックでの文化プログラムの役割や位置づけについて先進事例を学び、[ロンドンプラス] から [プラス東京] へ生かすための文化プログラムが必要であるという見解。これは、首都圏のホテルキャパシティは、完全にアウトである。なので、各地に地方空港をもつ日本の特性を生かすことと、日本が誇る新幹線ネットワークを生かし、地方ステイを仕掛ける。そのためには、各地の優れた文化プログラムの提案が不可欠であるということで、石見神楽という地域資源をもつ浜田市にとって、開府400年の2019年と2020年の東京五輪についての関連性についての示唆を感じた。